

心つないで

No.66

発行

2014年10月20日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部(本部長・金丸正樹)

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

第2陣・田中主任(六甲道診)、関主任(東雲診)の大船渡報告

キャベツの手遊び、盛り上がり！

お茶っこでは、いろいろな悩み事も

◎ 第2陣は、上記の二名が13日、台風19号の接近に見舞われながらも、無事出発し、15日まで行動しました。

・14日、午前中に津波伝承館を訪れました。津波の残酷さ・無残に尽きました。斎藤館長さんの「津波は予報が出てから直ちに身ひとつで高台に逃げればいい。しかし地震はいつ来るかわからないので、津波より地震が恐ろしい」との話が印象的でした。

・午後から地ノ森仮設住宅で歌体操を実施しました。健康チェックは男性1人、女性11人が実施。歌体操の参加は、女性9人でした。身体が温まり熱くなったとの声も。キャベツの手遊びも盛り上がりました。お茶っこでは津波の話も出ましたが、思い出したくなかったり、いつ仮設を出られるのかと。皆、ここでの暮らしが長いので協力しあって過ごしているし、同じ境遇だから・と話されました。【写真・下】※キャベツの手遊びって？→次号で紹介します



・15日は、赤崎町の鳥沢仮設住宅を訪問。参加は女性5人と支援員さん2人。他の住民はデイサービスに行ったり、通院したりと、留守が多いそう。震災前も皆さん同じ地域だったので顔見知りで、アットホームな雰囲気です。血圧がいつもより低いと喜んでおられました。【写真・上】

2015
1.17阪神淡路大震災
20年の集い

●PM2時～●灘区民ホール

来年1月17日は、阪神淡路大震災から丸20年です。多くの組合員、市民が集う企画を準備中です。次回実行委員会は、11月11日(火)午後5時/なだ組合員集会室。どなたでもご参加ください。

行動余話

地ノ森仮設の方に教えていただき、14日の夕食は「さんまラーメン」を食べました。美味しかったです・【写真・右】



● 「神戸～東北つながり募金」 にご協力ください！ (目標100万円)

